

# 環境改善の取り組み(その1)

## 地球温暖化防止(エネルギー削減)

### 1) エネルギー削減

2001年4月策定の環境基本方針に基づき、製錬・素材部門とその他製造部門各々のエネルギー売上高原単位(原油換算エネルギー使用量/売上高)の削減率目標値ガイドラインを設定し、エネルギー削減に取り組んでおります。

製錬・素材部門では、省エネボイラーへの転換等の改善による使用量削減と金属地金の価格上昇による売上高原単位低減により、2004年度目標を達成しております。一方、その他製造部門では、エネルギー削減に取り組みながら、付加価値の高い製品の売上高を伸ばすことにより、売上高原単位は改善されております。

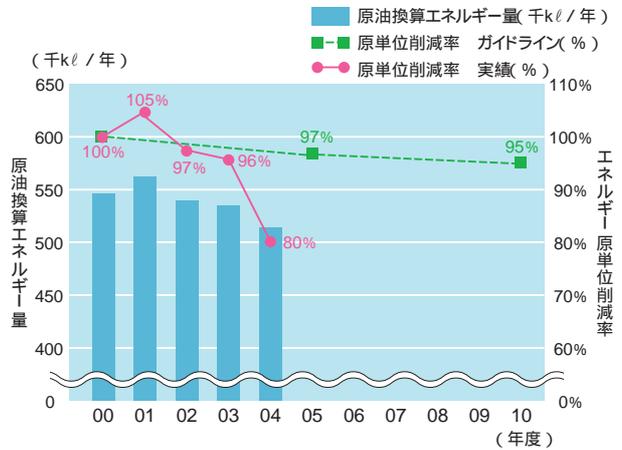
三井金属グループのエネルギー使用量は、一部のその他製造部門の事業拡大による増加がありますが、全体の使用量としては各事業所社の削減努力により、低減されてきております。

注(昨年環境報告書のグラフからの変更)  
原油換算エネルギー量を追加表示し、売上高原単位は各事業所社の単純平均から、全社加重平均に変更。

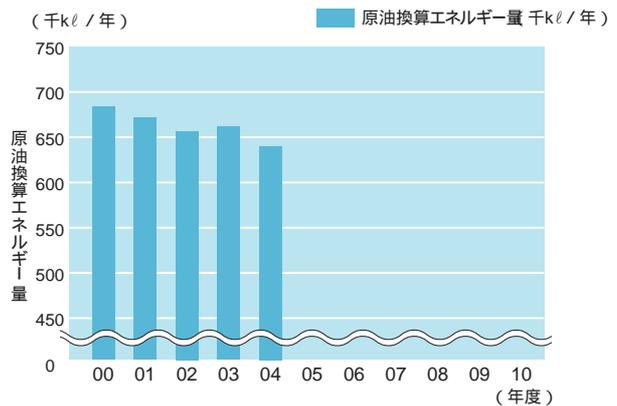
### 2) CO<sub>2</sub>排出量推移

2004年度の三井金属グループのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、京都議定書・基準年の1990年度に比べて約6%増加しております。これは、製錬・素材部門の生産量が増加したことによるものですが、一方でエネルギー削減の取り組みによりこの5年間でみると漸減傾向にあります。今後、電力、コークスの効率的な使用などを重点に更に削減してまいります。

製錬・素材部門 エネルギー削減 計画 & 実績



三井金属グループ エネルギー削減 実績



三井金属グループ エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 推移

